



下妻市社協広報紙

2022 No.275

8月25日発行

ふくしものがたり

FUKUSHIMONOGATARI

Shimotsuma



“ともに生きる力”を育てる福祉教育

表紙:下妻小学校においてボランティア協力のもと高齢者疑似体験学習を実施しました

社会福祉協議会 事業報告・決算

令和3年度は、重点目標を「新型コロナウイルス感染症に係る生活支援事業の実施」および「災害ボランティアセンター設置訓練」とし、昨年同様、生活に困窮された世帯への支援を重要課題とし、新しい生活様式に基づき感染拡大に留意しながら各種事業を実施しました。

法人運営事業

1. 総務部門

- 苦情解決体制の強化
- 広報・啓発活動
 - ・ 広報紙「ふくしものがたり」の発行 年6回 計78,000部
- 会員増強運動の実施

・ 一般会費	9,962世帯	4,981,000円
・ 特別会費	233件	1,272,000円

2. 労務管理部門

- 職員研修の実施
 - ・ 社協の自主研修のほか、下妻市や全国・茨城県社協主催の研修会に参加
- 全職員を対象としたストレスチェックの実施
- 新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底

3. 共同募金関係

- 赤い羽根共同募金運動への協力 募金実績 12,507,589円

地域福祉事業

1. 相談事業

- 心配ごと相談事業（弁護士・相談員による法律相談）【市受託事業】 延相談件数83件
- 乳幼児発達相談事業（ポータブルプログラム）【一部市補助事業】 相談者56名

2. 貸付事業

- 生活福祉資金貸付事業【県社協受託事業】 貸付件数45件
- 新型コロナウイルス生活福祉資金特例貸付【県社協受託事業】 貸付件数490件
- 小口資金貸付事業 貸付件数48件

3. 子育て支援事業

- ファミリーサポートセンター事業【市受託事業】
 - ・ 子供の預り 在宅での預り（ファミサポ） 延869時間
 - ・ 託児室での預り（うえるきっず） 延2,295時間
 - ・ 協力会員研修会・交流会 年4回開催（救命救急講座「AEDを使ってみよう」ほか） 延参加者64名
- がんばれ子育て応援講座
 - ・ 子育て世代を対象とした防災イベント「わくわく親子防災ハロウィン2021」の開催 参加者314名
- 子育てひろば事業
 - ・ 地域においての子育てサロン活動を推進 サロン数2ヶ所 延参加者195名

4. 生活支援事業

- ふれあい訪問・お届け事業
 - ・ ふれあいや安否確認のための訪問活動を実施 利用者12名
 - ・ 絵手紙や社協オリジナルカレンダーを一人暮らし高齢者に配布 延利用者1,028名
- 在宅福祉サービスセンター事業（あおぞらサービス）【市受託事業】
 - ・ 掃除、洗濯、買い物などの軽易な家事支援の実施 利用者55名 延利用時間2,154時間
 - ・ 協力会員研修会・交流会 年3回開催（「感染症予防と対策」講話 ほか） 延参加者56名
- 日常生活自立支援事業（日常的な金銭管理や書類の預り）【県社協受託事業】
 - ・ 新規相談件数12件 新規契約数3件 契約者18名
- 生活困窮者自立支援事業（生活困窮者等への生活相談支援）【市受託事業】
 - ・ 年間相談件数235件（就労や家賃等の支援）
 - ・ 住居確保給付金16件 就労準備支援2件 家計改善支援3件
- 学習支援事業（寺子屋）【市受託事業】
 - ・ 毎週月曜日、小学4年生から中学3年生を対象に、ボランティアによる学習支援を実施 延利用者129名
- 食糧支援事業（にこにこ294セット配布事業）
 - ・ 長期化するコロナ禍で生活に困窮する要保護・準要保護、ひとり親世帯等を対象に食糧支援を実施 年2回 配布件数483件

5. 社会参加・交流事業

- まちなかサロン事業（ぶらっとほーむ）【市受託事業】
 - ・ 1階カフェコーナー 年間利用者3,816名（1日平均20名）
 - ・ 2階交流スペース 健康や趣味に関する講座を開催 年間利用者212名
- ※市委託事業の終了に伴い令和3年度末で事業終了

6. 助成金交付事業

- 地域福祉助成・活動支援事業 助成件数13件助成金額2,064,336円
- 赤い羽根共同募金を財源に、住民同士で取り組むまちづくり活動を資金面から支援
- 活動助成事業 助成件数10件 助成金額2,402,740円
- 地域の特色を活かした福祉活動の取り組みを推進していくため、各社協支部および自治会長連合会、民生委員児童委員協議会に助成金を配分
- 下妻市防災ラジオ購入助成金事業
 - ・ 下妻市が実施した防災ラジオの頒布に際し、市民の購入負担金の軽減措置として1台につき1,000円の助成 助成件数 5,467件 助成金額5,467,000円

7. 災害・緊急支援事業

- 火災見舞金 支給件数1件 支給金額20,000円
- 行路人旅費 支給件数1件 支給金額500円

ボランティアセンター事業

- ボランティアの状況
 - ・ 登録団体数25団体 個人ボランティア登録者59名（ボランティア総数1,492名）
- ボランティア活動助成事業
 - ・ ボランティアサークル、学校等へ活動助成 助成件数18件 助成金合計620,000円
- 福祉教育支援事業
 - ・ 市内小中学校の福祉体験支援 体験延人数（児童、生徒）888名
- 善意銀行
 - ・ 寄付金 32件 420,451円
 - ・ 未使用切手 3件 7,054円
 - ・ 古切手 138件 書き損じハガキ 23件
 - ・ 預託品（未使用タオル、紙おむつなど）68件
- フードバンク事業
 - ・ 食品回収ボックスを市内3か所に設置。また、食品ロス削減の観点より市内企業より食品提供・社内食品回収ボックス設置の協力をいただく
 - ・ 食糧品の寄付 個人73件 食品回収ボックス等回収数45回
 - ・ 食糧品の配布 個人231件 市内児童福祉施設25回
- 災害ボランティアセンター
 - ・ 県社協や行政、関係機関協力のもと、全職員を対象に災害ボランティアセンター運営訓練を実施
 - ・ 下妻青年会議所と「災害時における協力体制に関する協定」を締結

指定管理者制度に基づく施設の管理・運営

- 福祉センター「砂沼荘」
 - ・ 施設一般利用 延利用者数6,716名
 - ・ 講座（健康体操教室、シルバーリハビリ体操、スクエアステップ等）の開催 延参加者数1,714名
- ほか2施設（「シルビア」「ひばりの」）を運営

介護保険事業

- 居宅介護支援事業・介護予防ケアマネジメント事業（ケアマネージャー） 延利用者数1,874名
- 訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業（ホームヘルパー） 延利用者数6,899名
- 地域密着型通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業（デイサービス） 延利用者数3,916名

障害者総合支援事業

- 居宅介護事業（ホームヘルパー） 延利用者数1,209名
- 生活介護事業（デイサービス） 延利用者数5,925名



砂沼荘運営事業



災害ボランティアセンター運営訓練



食料支援事業（にこにこ294セット配布）

令和3年度 社会福祉法人 下妻市



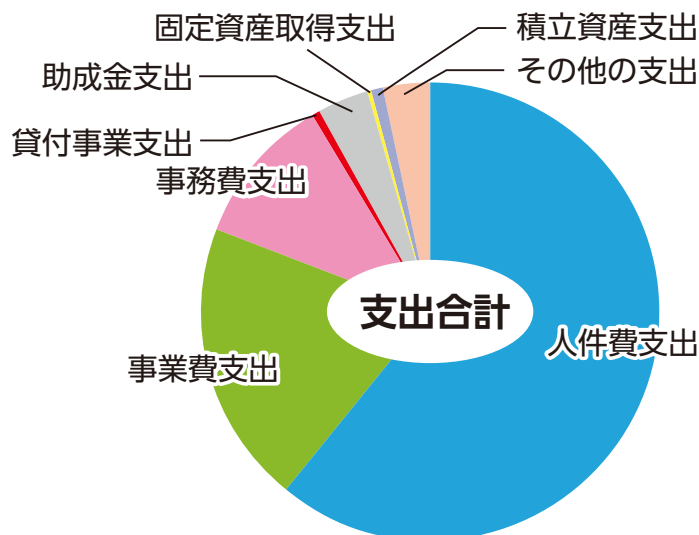
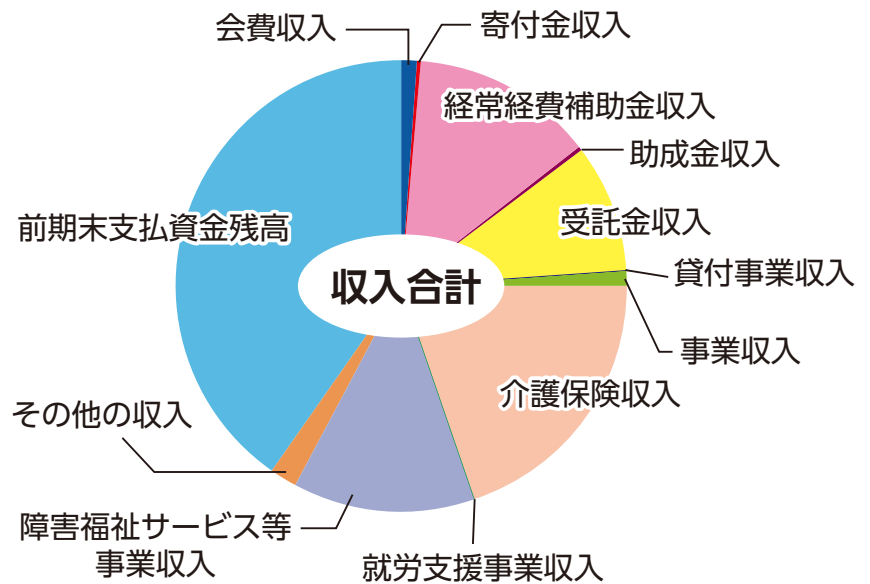
令和3年度 収支決算

(単位:円)

収入	
会費収入	6,253,000
寄付金収入	420,451
経常経費補助金収入	59,806,069
助成金収入	991,358
受託金収入	41,696,300
貸付事業収入	692,500
事業収入	4,452,764
介護保険収入	90,128,757
就労支援事業収入	37,108
障害福祉サービス等事業収入	58,485,954
その他の収入	9,833,591
前期末支払資金残高	182,146,254
収入合計	454,944,106

(単位:円)

支出	
人件費支出	181,186,456
事業費支出	28,750,372
事務費支出	31,643,532
貸付事業支出	1,564,500
助成金支出	10,554,076
固定資産取得支出	927,630
積立資産支出	2,500,000
その他の支出	9,416,800
支出合計	266,543,366



重点目標に対する経過報告

新型コロナウイルス感染症の影響を受け生活に困窮された世帯に対し生活費の貸付や賃貸住宅の家賃の給付、食糧の支援などを通じ生活の支援を行いました。

また、近年、全国的に発生している自然災害に備えるため、茨城県社会福祉協議会と共催により、災害ボランティアセンター運営訓練を実施しました。

「いばらき型災害ボランティアセンター運営支援システム(IVOS)」の操作研修を実施しました

5月23日(月) 砂沼荘において「いばらき型災害ボランティアセンター運営支援システム」、通称IVOS(アイボス)の操作研修を実施しました。

IVOSとは、災害ボランティアの「事前登録」や「被災地のニーズ」など、災害ボランティアセンターの運営における必要な各種情報を集約・共有化できるシステムです。システムの導入により、災害ボランティアセンター運営の効率化や職員の負担軽減を図ることができ、災害が発生した際に災害ボランティアセンターのスムーズな設置・運営を行うことができます。

今回の研修では、茨城県社会福祉協議会の指導のもと職員がシステムを操作し、「災害ボランティアの登録」や「被災者ニーズ登録」の仕方などを実際に体験しました。

今後起こりうる災害に備え、社協職員が迅速にセンター運営を行えるよう定期的にシステム操作研修を実施していきます。



在宅福祉サービスセンター「あおぞら」・子育て支援「ファミリーサポートセンター」協力会員研修・交流会

普段は別々に活動をしている相互援助サービス「あおぞら」「ファミリーサポートセンター」の協力会員同士の資質向上や交流を図るため、7月に協力会員研修会及び交流会を実施しました。

(研修会)

7月5日(火)に感情コントロール研修会を実施しました。研修会では講師としてエモーション・クララ代表 倉持 英子氏を迎え、「自分らしく生きられる」「ストレスに強くなる」をテーマに感情をコントロールすることについての講話をいただきました。

参加者は初対面同士の方が多かったこともあり、最初は緊張した様子でしたが、途中でグループごとに分かれた意見交換会が始まると笑顔が見られ、和気あいあいとした明るい雰囲気の研修会となりました。



(交流会)

7月12日(火)に26名の参加のもと協力会員交流会を開催しました。行き先となった日光東照宮では、各々観光名所の散策や食事を楽しみました。

当日は雨であいにくの天気となりましたが、今回の交流会を通じ、普段はなかなか顔を合わせる機会の少ない協力会員さん同士の親睦を深めていただくことができました。

参加者からは「このような機会は貴重だし、すごく良かった」「また来年も計画してほしい」との感想をいただきました。



“ともに生きる力”を育てる福祉教育

社協は、全ての人がかけがえのない存在として差別や排除されたりすることなく社会生活の中で共に支えあうことができるよう「誰もが安心して暮らせるまちづくり」の実現を目指しています。その取り組みの一つとして、市内の小中学校と連携し“ともに生きる力”を育むことを目標とした福祉教育を行っています。

福祉教育は子どもたちの学びの支援と住民が地域福祉を推進するための支援、これら2つの視点で進めています。

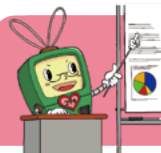
“ともに生きる力”の大切さを伝えるため、地域に住むボランティアさんの協力のもと、今後も様々な福祉教育を実施していきます。



7月13日(水)に下妻小学校で高齢者疑似体験学習が行われました

交通安全運転優良事業所 として表彰されました

令和4年6月24日(金)、下妻市役所にて下妻地区安全運転管理者協議会地区表彰式が開催され、交通事故防止に貢献したことに対し下妻市社会福祉協議会が優良事業所として表彰されました。今後も職員一同、安全運転に努めてまいります。



夏休みの宿題を サポートしました

社協では市内在住の小学生を対象に、夏休み期間中の宿題をサポートする「宿題おたすけ隊」を実施しました。会場では子どもたちが各自宿題に取り組み、分からないところ等を学習支援ボランティアに聞きながら問題を解いていました。

なお、社協では9月以降も学習支援「寺子屋」を実施しますので、皆さんのご参加をお待ちしています。



福祉センター「砂沼荘」からのお知らせ

福祉センター「砂沼荘」は、子どもから高齢者までどなたでも利用できる健康増進施設です。各種団体の集会や総会、フィットネスやダンス練習、趣味・クラブ活動などの発表の場としてご利用いただけるほか、卓球やニュースポーツ用具、フィットネスマシンなどもご利用いただけます。また、ピンポン大会やグラウンドゴルフ大会などのイベントも定期的で開催していますので、興味のある方はぜひご来館ください。

※ニュースポーツとは、競技者の年齢や体力、競技環境に合わせ、勝敗にこだわらずレクリエーションとして楽しく運動できることを目指したスポーツです。



6月28日(火)にピンポン大会が開催されました



(お問い合わせ) 福祉センター砂沼荘
44-5577

いばらきテーマ型募金のご報告

地域課題や社会課題解決に取り組む団体の活動を財政面から支援することを目的に「いばらきテーマ型募金」を募集し、多くの皆さまよりご協力をいただくことができました。

お預かりした募金は、茨城県共同募金会を通じて、県内の子育て支援団体に配分されました。

募金総額 8,852円

災害義援金のご報告

「令和2年福島県沖地震災害」、「令和3年大雨災害」及び「令和4年3月福島県沖地震災害」の被災者を支援するため、多くの皆さまよりご協力をいただき誠にありがとうございました。

義援金は茨城県共同募金会を通じて、全額を被災された皆さまにお届けしました。

募金総額 8,200円

令和4年度 下妻市社会福祉協議会 職員採用試験について

令和4年度下妻市社会福祉協議会職員採用試験の実施について、下記の通り予定していますのでお知らせいたします。

■募集職種及び採用予定人数等

(職 種) 総合職 (採用人数) 若干名
(採用時期) 令和5年4月1日

■募集要項の周知方法

市お知らせ版、市社協ホームページ等
(10月下旬頃掲載予定)

■試験日程

●一次試験 令和4年12月予定

一般教養試験・適性検査

●二次試験 令和5年1月予定 作文・面接

(お問い合わせ) 44-0142 社会福祉協議会 総務係

求 人 情 報

看護職員を 募集しています

● デイサービス看護職員 ●

(募集人数) 1名

(雇用形態) パート職員

(業務内容) 介護保険制度の主に65歳以上の高齢の方や自立支援制度の障害をお持ちの方に対し、施設での通所介護サービスを提供しています。看護業務のほか、入浴、食事、排泄介助など介護サービスのお仕事です。

(賃 金 等) 時給1,150円 通勤手当 労災保険

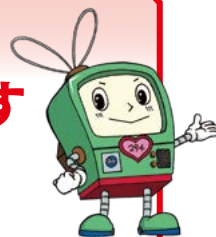
(勤務時間) 8時30分から17時15分の間の4時間程度

(応募資格) 准看護師・正看護師・保健師のいずれか
普通自動車運転免許

(勤 務 地) 下妻社協ケアセンター

(下妻市別府545 福祉センターシルビア内)

(お問い合わせ) 44-6993 担当/塚田



「フードバンク食品回収ボックス」の 名称が変わりました

食糧支援や食品ロスに取り組みに、より多くの方に気軽にご参加いただくため、NPO 法人フードバンク茨城と提携し、今年6月から市役所本庁舎他3カ所に「きずなBOX」を設置しました。これにより、今まで社協独自で設置していた「フードバンク回収ボックス」の名称も「きずなBOX」に統一し、より皆様にご利用しやすいよう設置場所も増設しました。

皆様よりご寄付いただいた食品は、市内福祉施設や子ども食堂、また支援を必要としている世帯などにお渡ししています。少量でもご寄付いただけますので、皆様のご協力をお待ちしています。

なお、食品を直接社協へお持ちいただくことや、ご自宅へ取りにお伺いすることも可能ですので、お気軽にお問合せください。

◆きずなBOX設置場所

〈設置済み〉

- ・下妻公民館（本城町3-36-1）
- ・福祉センター砂沼荘（下木戸493-6）

〈新設〉

- ・市役所本庁舎1階 市民ホール
- ・下妻市立図書館
- ・千代川公民館（鬼怒230）
- ・大宝公民館（大串733）

◆受取可能な食品

- ・賞味期限が2カ月以上あるもの
 - ・常温保存が可能なもの
 - ・未開封のもの
- ※米（玄米）、お菓子、缶詰、レトルト食品、乾麺など



下妻公民館 正面玄関



下妻市立図書館

咲かせよう 愛の花

善意銀行

ありがとうございました

2022年5月1日～7月31日（順不同・敬称略）

古切手

横瀬 紀久子
坂井 容子
萩原 富美枝
第一生命保険(株) 下妻営業オフィス
特別養護老人ホーム 加養の里
(有)フジヤ商店
司代酒店
(有)マルオカ
(株)山野辺工業
さくら建設(株)
(株)すずき
認定こども園 ふたば文化
大宝保育園
下妻市退職公務員連盟
水戸地方法務局 下妻支局
市役所 福祉課・農政課・保健センター
匿名 13件

預託金

白鳥 文子 10,000円
山野辺工業(株) 27,125円
フラワーカップ実行委員会 96,487円
フラワーカップ実行委員会 75,000円
フラワーカップ実行委員会 75,000円
匿名 500,000円

書き損じハガキ

特別養護老人ホーム 加養の里
下妻市退職公務員連盟
匿名 2件

生活用品（タオル・紙オムツ・おしりふきなど）

横倉 ふみ
栗原 正徳
酒寄 まり子
故 増田 秀雄
司代酒店
下妻市更生保護女性会
下妻市退職公務員連盟
匿名 18件

フードバンク（お米・レトルト食品・保存食など）

酒寄 利子
吉川
(株)カスミ
フードスクエア下妻ふるさわ店
フードスクエア下妻店
フードオフストッカー千代川店
(株)TAIYO
きずなBOX
下妻公民館・砂沼荘・千代川公民館・
大宝公民館・図書館・下妻市役所
匿名 15件

お届け先

※食糧品 ➡ お菓子・調味料・お米など
みんなの食堂
自生園
個人 延べ72名
※介護用品 ➡ 紙オムツ・タオルなど
市内介護事業所

わくわく
みんなの

防災

Halloween

～もしもに備えて、パパ・ママ・じいじ・ばあば・お友達とみんなで防災について学んじゃおう～

日時 10月29日(土) 10時～15時

場所 waiwaiドームしもつま
(入場無料)

タイムスケジュール

10:00～ イベント開始
10:30～ ハロウィンパレード
仮装大歓迎!

11:00～ スタンプラリー
Dr.ナダレンジャー「防災科学教室」
なるほど、そうなんだ、が楽しくわかつちゃう

13:00～ Dr.ナダレンジャー「防災科学教室」パート2



体験できる

- ◆たべてみよう! 防災食
- ◆やってみよう! 防災クイズ王
- ◆つくってみよう! ハロウィンランタン
- ◆入ってみよう! けむりハウス
- ◆乗ってみよう! はしご車
- ◆読んでみよう! ディスレクシア体験

見て学ぶ

- ◆すごいな! ムービングハウス
- ◆どうなってるの? マンホールトイレ
- ◆どんな感じ? 段ボールベッド
- ◆必見! 初心者ボランティア HOW to



Dr.ナダレンジャー&ナダレンコ

かわいい仮装で
みんなで楽しもう!
キッチンカーもくるよ

主催: 下妻市社会福祉協議会

共催: Shi♡shimai・ガールスカウト茨城県第42団・不登校コミュニティしもつま・下妻母親クラブ
社会につながる創作クラブつくるん♪・しもつま外国人支援ネットワーク TOMODACHI
でこぼこキッズ凸凹親の会「にじいろ☆すまいる」・鈴木鉄工(株)

協力: 下妻市・下妻消防署・災害ボランティアなもなき団体

*マスクの着用・手指消毒など感染防止対策にご協力ください。

*新型コロナウイルス感染拡大防止により、イベントが中止、または内容が変更になる場合があります。

ご協力をよろしくお願いいたします

赤い羽根共同募金運動



運動期間 10月1日から12月31日

今年も10月1日から全国一斉に**赤い羽根共同募金**がスタートします。

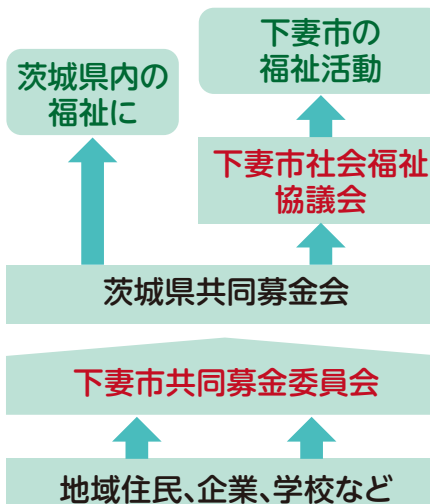
下妻市共同募金委員会では、毎年10月1日から12月31日を期間として赤い羽根共同募金運動を推進しており、福祉関係者や区長の皆さま、市内企業・学校等のご協力のもと、様々な募金運動を展開しています。

皆さまからお寄せいただいた募金は、下妻市の地域福祉や高齢者・障がい者・児童福祉、ボランティア活動など様々な社会課題・地域課題を解決するための活動に役立てられます。また、新型コロナウイルス感染症の影響でお困りの方を対象にした支援にも活用されます。

「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を実現するため、皆さまのあたたかいご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

赤い羽根共同募金運動は、まちの人のやさしい気持ちを集める活動です。あなたの優しさが、あなたの声かけが、あなたの行動が、きっとまちを変えていくはじめの一步となるはずです。もっと、もっと、下妻市が良いまちになりますように。

共同募金のしくみ



赤い羽根共同募金の使い道 (令和4年度)

下妻市における昨年度の募金総額は12,507,589円となりました。このうち約90%にあたる11,296,737円は下妻市で取り組まれる各種福祉事業に役立てられます。(残りの10%は県内の福祉事業費として活用されます)



高齢者福祉のために482,000円

ひとり暮らしのお年寄りへの絵手紙・カレンダー
お届け事業 ほか



子ども・青少年福祉のために 1,543,000円

がんばれ子育て応援講座事業、
子育て支援「うえるさっず」事業 ほか



障がい者福祉のために729,000円

発達相談事業、成年後見制度普及促進事業 ほか



地域福祉活動推進のために

.....1,008,320円

住みよいまちづくりのための調査活動事業 ほか



**市民が取り組む地域福祉活動支援の
ために2,764,789円**

地域福祉助成事業、地域福祉活動支援事業 ほか



まちなか交流・サロン支援のために

.....828,908円

サロン連絡会開催事業 ほか



**新型コロナウイルス感染症でお困りの
方のために600,000円**

食糧支援「にこにこ294セット」配布事業 ほか



その他各種福祉事業のために 3,340,720円

防災ラジオ助成事業、災害対応備品購入事業、
火災見舞金支給事業 ほか



昨年度の下妻市での募金の使い道につきましては、
「赤い羽根データベースはねっと」をご覧ください

「赤い羽根データベースはねっと」

募金額として1世帯あたり1,000円を
目安にご協力をお願いいたします



赤い羽根が『ありがとうステッカー』に変わりました

赤い羽根共同募金運動のシンボルとして「赤い羽根」が各世帯に配布されておりましたが、新型コロナウイルスの影響および赤い羽根の生産不足等の理由により、皆さまにお届けするための十分な個数をご用意することが困難な状況となっております。

そのため、昨年度は「赤い羽根」のかわりに「寄付済み証」を配布しておりましたが、令和4年度からは中央共同募金会が作成する『ありがとうステッカー』を配布させていただきます。皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。※赤い羽根は共同募金のシンボルとして、街頭募金などで引き続き活用させていただきます

